

## 第5次君津市地球温暖化対策実行計画（素案） に係るまちづくり意見公募手続の実施結果について

経済環境部

令和5年6月1日から令和5年6月30日まで意見募集を行ったところ、以下のとおり意見がありました。

### 1 意見の件数

意見数 6件（提出者数 3人）

### 2 提出方法

持参	0件（0人）	郵送	0件（0人）
Fax	0件（0人）	電子メール	1件（1人）
回答フォーム	5件（2人）		

### 3 意見の概要及び市の考え方

別紙のとおり

### 4 結果の公表

- 公表場所：環境グリーン推進課、市民センター、公民館、  
コミュニティセンター、中央図書館、市のホームページ
- 公表期間：令和5年8月1日から3か月間

## 別紙 意見の概要

### 市の対応区分

対応区分		意見の件数
A	意見をもとに、施策案を修正したもの	1件
B	意見の考え方が施策案に含まれていたもの	4件
C	意見を施策案に反映しないもの	0件
D	その他、施策案に直接関係ないもの等	1件

	該当項目	意見の概要	対応区分	市の考え方
1	区域施策編 第5章 目標達成に向けた取組 2 目標達成に向けた取組 市民の取組 (1) 省エネルギーの推進	市民レベルでできる事として、徒歩で行くことができる場所に気軽に集う事で、日中の冷暖房を主とした電気のシェアができればよい。また、公民館や公会堂、市役所など、特定の人が負担にならない事が継続につながり、同時に顔の見える関係作りにもなると思う。	A	ご意見をもとに該当項目に次の文章を追加します。 (追加) ・公共施設など様々な場所を利用することで、冷暖房などのエネルギーのシェアを行います。
2	区域施策編 第5章 目標達成に向けた取組 2 目標達成に向けた取組 市民の取組 (1) 省エネルギーの推進	光熱費の高騰は、家庭への打撃が大きいので、クーラーや扇風機の使用を適切に行う呼びかけだけではなく、市の補助が必要だと思う。	B	節電は脱炭素に繋がる重要な取り組みであることから、広報誌等を通じて周知を行っておりますが、今後も市民・事業者の脱炭素に対する意識の高揚を図るため、様々な取り組みを検討してまいります。
3	区域施策編 第5章 目標達成に向けた取組 2 目標達成に向けた取組 市民の取組 (1) 省エネルギーの推進	市民の取組の中に記載されているエアコンフィルターの清掃について、介護保険の対象として欲しい。	D	現行の法令や制度の範囲内において脱炭素社会の実現を推進していくことを目指しております。市民の方々の取り組みに関しましても無理のない範囲でできることから取り組みをお願いします。

	該当項目	意見の概要	対応区分	市の考え方
4	区域施策編 第4章 計画の目標 2 削減目標の対象	<p>市民がいくら努力しても鉄鋼関連企業が温室効果ガスの排出量を減らさないと、君津市としての排出量は減らないことから、鉄鋼関連企業に対する施策を明確にし、定期的なチェックを含めた関わり合いを深めるべきだと思う。</p> <p>当該企業に対し、強く働きかけを行えば、カーボンニュートラル実現のゴールへ到達するための一助となるはずである。</p>	B	<p>鉄鋼関連企業からの排出量や削減に向けた取組については、事業者と情報交換を行いながら把握に努めるのと同時に目標達成に向けた連携を模索する必要があると考えており、下記項目に方針を示しております。</p> <p>第4章 計画の目標 2 削減目標の対象</p> <p>いただいたご意見を参考に、鉄鋼関連企業をはじめとした市内事業者等と協働で目標に向けた取組を推進できるよう計画を推進してまいります。</p>
5	区域施策編 第4章 計画の目標 2 削減目標の対象	<p>カーボンニュートラル実現には、とてつもない資金がかかることから、人材の確保も含め、鉄鋼関連企業への協力を推進していただきたい。</p>	B	<p>本市が目指す環境グリーン都市とは、カーボンニュートラルを契機に環境問題を解決しながら、同時に持続可能な経済成長を目指す社会を表しています。</p> <p>環境グリーン都市実現に向け、市民や鉄鋼関連企業を含む事業者とともに、オール君津で取り組んでまいります。</p>

	該当項目	意見の概要	対応区分	市の考え方
6	区域施策編 第5章 目標達成に向けた取組 2 目標達成に向けた取組 市の取り組み (1) 省エネルギーの推進	第5章 目標達成に向けた取組 2 目標達成に向けた取組 市の取り組み (1) 省エネルギーの推進 ②省エネルギー機器等の導入促進 上記内容に賛同する。 カーボンニュートラルの実現を目指した革新的な技術の実現には時間がかかるため、それまでの間に排出される温室効果ガスの抑制は重要な問題であり、徹底した省エネを中心とした多様で多角的な取り組みが必要であると考え 地球温暖化対策においては、再生可能エネルギーに限定することなく、さまざまなエネルギーの選択肢について、情報提供も含めた利用促進を図ることが必要であると考え。	B	カーボンニュートラル実現のためには、省エネルギーの徹底と、再生可能エネルギー等の導入拡大の両輪で取組を進める必要があります。 また、再生可能エネルギーに限らず、排出係数の少ないその他のエネルギーにおきましても、引き続き、情報収集及び活用について検討を行ってまいります。